

夷王山まつりフォトコンテスト結果発表!

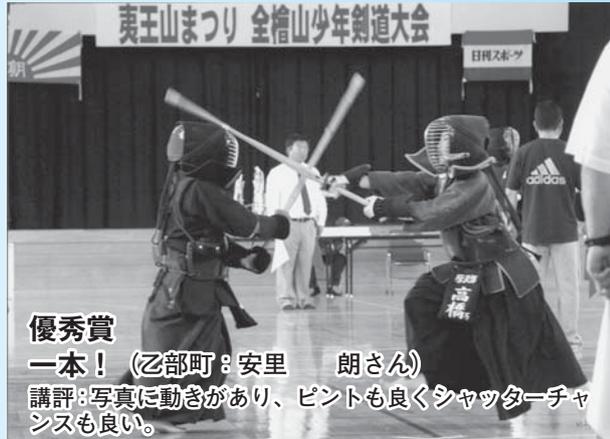
夷王山まつりが、6月19日・20日に開催され、「夷王山まつりフォトコンテスト」が実施されました。同コンテストには6人24作品の応募があり、最優秀賞・優秀賞を選考するため、8月9日、町観光協会において厳正なる審査が行われました。その中で、最優秀賞と優秀賞2点を紹介します。なお、町観光協会から最優秀賞の方には賞金3万円と副賞が、優秀賞の方には賞金1万円と副賞が贈られました。



最優秀賞
夷王山で厄払い (七飯町:宗山 和夫さん)
講評:題名にふさわしく、夷王山そのものがバックにあるのが素晴らしい。厄払いそのものも動きがある。



優秀賞
祈願 (函館市:柴田 隆司さん)
講評:参拝者の祈願姿が印象的。



優秀賞
一本! (乙部町:安里 朗さん)
講評:写真に動きがあり、ピントも良くシャッターチャンスも良い。

町に相撲部がやってきた!

拓殖大学第二高等学校相撲部の合宿行われる

町(字中須田)出身の布施美樹さんが顧問を務める拓殖大学第一高等学校(東京都)相撲部が、8月7日から8日間、町内で合宿を行いました。同相撲部員は、集団生活をとおして仲間とのきずなを深めながら技術と体力の向上を図るため、町内や江差町のけいこ場で大粒の汗を流していました。金子尚平主将(3年生)は、「今回の合宿でチームワークを向上させて大会で良い成績を残したい。」と話していました。



布施さん(写真左上)と活躍が期待される相撲部員

ママの気持ちになりました!

赤ちゃんふれあい教室開催

ママの気持ちになって命の誕生を理解してもらおうと7月20日と23日に上ノ国中学校で「赤ちゃんふれあい教室」が開かれ、同校の3年生60人が赤ちゃんが誕生するまでの過程をスライドを使って学び、生後2ヶ月から1歳くらいまでの赤ちゃん16人とふれあったり、ママに出産の大変さや赤ちゃんの名前の由来を聴くなど、ママの大変さをもっと感じていました。



抱っこするの難しいよ~

